

源泉徴収簿の〔配偶者の有無〕を〔有〕にする方法

「社員」－「社員情報の登録」の〔所得税・年末調整〕－〔家族〕タブにて配偶者の氏名を入力してください。

配偶者の氏名がわからない場合、「社員」－「社員情報の登録」－〔所得税・年末調整〕の〔所得税・扶養の数等〕タブにて〔家族の入力から扶養親族等の数を自動計算する〕のチェックマークをご確認の上、以下のどちらかの操作を行ってください。

- ① 〔家族の入力から扶養親族等の数を自動計算する〕のチェックマークが付いている場合、〔扶養控除等申告書〕タブの〔配偶者〕を〔有〕に変更します。

社員情報の登録

修正 0001 千代田 太郎 在職 フセン(L)

個人情報 就労・所属 所得税・年末調整 給与 賞与 単価等 保険 住民税 通勤費 有給休暇 支払方法 その他

所得税・扶養の数等

家族

扶養控除等申告書

前職分

従たる給与についての扶養控除等申告書の提出 (J) 0:未提出

甲欄の社員が、他の給与の支払者に「従たる給与についての扶養控除等申告書」を提出している場合に、「1:提出」を選択してください。

世帯主の氏名 (G) 千代田 太郎

あなたとの続柄 (L) 本人

配偶者 (P) 1:有

- ② 〔家族の入力から扶養親族等の数を自動計算する〕のチェックマークが付いていない場合、「社員」－「社員情報の登録」－〔所得税・年末調整〕の〔所得税・扶養の数等〕タブにて〔配偶者の有無〕を〔有〕に変更します。

社員情報の登録

修正 0001 千代田 太郎 在職

個人情報 就労・所属 所得税・年末調整 給与 賞与 単価等 保険 住民税 通勤費 有給休暇 支払方法

所得税・扶養の数等

家族

扶養控除等申告書

前職分

税区分 (Z) 甲欄 乙欄 手入力 機械計算甲欄

扶養親族等の数 (L) 0 人 扶養親族等の数を手入力する (I)

本人 (M):

寡婦 (夫) 等区分 0:対象外

障害者区分 0:対象外

他区分 勤労学生 未成年者 死亡退職 災害者 外国人

家族の入力から扶養親族等の数を自動計算する (A)

現在、扶養人数を手入力するモードです。
〔家族〕タブの入力から扶養人数を自動計算する場合はチェックしてください。

配偶者 (P):

配偶者の有無 1:有

配偶者区分 0:対象外

源泉控除対象配偶者 0:対象外

障害者区分 0:対象外

配偶者の合計所得額 0

扶養親族 (G):

一般	0人
特定	0人
老人 (同居)	0人
老人 (その他)	0人
16歳未満	0人